

【八雲町】 校務DX計画

文部科学省「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言に基づく次世代の校務DX化に向けて、文部科学省が公表した「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、次に掲げる事項を重点的に推進する。

1. 校務系・学習系ネットワークの統合

教職員一人一人の事情に合わせた柔軟かつ安全な働き方を可能とするため、ゼロラストの考え方に基づくアクセス制御によるセキュリティ対策を十分に講じたうえで、学校・町情報政策担当部門・関係業者等と連携を図りながら、ロケーションフリーで校務系・学習系ネットワークへ接続可能な環境の整備（教職員用端末の1台化を含む）に向けた調査・研究を進める。

2. 校務の効率化・ペーパーレス化

クラウドツールの活用等により校務の効率化・ペーパーレス化を推進することで、FAXでのやりとりや押印は極力最小限としている。

FAXは有害鳥獣による被害の恐れのある場合などの緊急時の複数の連絡手段として活用しており、押印を求める書類については、八雲町財務規則等に規定されているもののみとしているが、押印の見直しについて関係部局と協議を行うなかで不要となるよう働きかけていくこととする。

3. 校務のデジタル化

教職員等の負担軽減、コミュニケーションの迅速化や活性化を推進する環境を構築するため、文部科学省による「次世代の校務デジタル化推進実証事業」の状況を注視しつつ、教職員と学校現場における課題・ニーズ等の情報共有を図るなど、校務デジタル化に向けた校務系ネットワーク・システム等の現状分析や望ましい校務の在り方に関する検討を行い、パブリッククラウド上での運用を前提とした環境整備を進める。